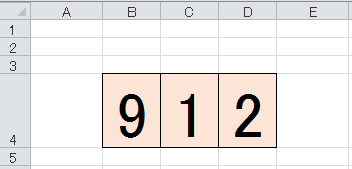
**演習０９（Step09Subプロシージャ）**

ファイルEx09.xlsmを開き、登録されているSubプロシージャ「Private Sub Srot」を呼び出す、Subプロシージャ「スロットゲーム」を作成しましょう。



**演習０９（Step09Subプロシージャ）ヒント**

**（１）「Srot」プロシージャの確認**

課題ファイルEx09.xlsmの標準モジュール「Module1」には「Srot」Subプロシージャが既に登録されています。

Private Sub Srot(R As Integer, C As Integer)

Dim K As Integer

Dim Kn As Integer

Dim J As Integer

Cells(R, C).Select

Selection.ClearContents

J = Int(Rnd() \* 10)

Cells(R, C).Value = J

End Sub

このSrotプロシージャは2つの仮引数（RとC）を持っていて、

Cells(R, C).Value = J

というように使用しています。つまり、２つの仮引数は

　　　　第１引数　　　数字を表示する行位置

　　　　第２引数　　　数字を表示する列位置

を示すことが確認できます。

**（２）親プロシージャの作成**

このプロシージャはPrivateプロシージャで、直接実行させることはできません。つまり、Srotプロシージャを呼び出す親プロシージャを作る必要があります。それを、「スロットマシーン」Subプロシージャとすれば、３けたのスロットマシーンを表示するためには、Slotプロシージャを3回呼び出す必要があります。

　　Sub　スロットマシーン()

　　　　　Call Srot(4,2)

Call Srot(4,3)

Call Srot(4,4)

End Sub

なお、上記は位置パラメータによる呼び出しですが、以下のようにキーパラメータを用いれば順不同で指定することができますので確認してみましょう。

　　Sub　スロットマシーン()

　　　　　Call Srot(C=2, R=4)

Call Srot(C=3, R=4)

Call Srot(C=4, R=4)

End Sub